

22人が交流 早慶懇談会

青梅稲門会と青梅三田会

横田さんが英国コッツウォルズの魅力語る



今年は22人が出席し、親睦を深めた

早稲田大学OBでつくる青梅稲門会（大倉十彌也会長）と慶應義塾大学OBでつくる青梅懇談会が9日、青梅市河辺町のひのき茶屋であった。講演に耳を

傾け、近況などを報告し合い懇親を深めた。青梅稲門会が幹事となり開催したもので、それぞれの会から11人ずつ22人が参加した。多くが卒業から50年前後経つ人が多く、始めの会長あいさつは世代を意識した言葉となった。

大倉会長（74）は「最近身近なことで、できることを続けることの大切さを特に感じている」と継続の大切さを呼び掛けた。外科医の高木会長（77）は最近よく使われるフレイル（虚弱）の言葉を引

き、「筋力の減少をいかにして防ぐかが大事なこと。散歩を心掛けるなど身体を動かして健康寿命を長くしよう」と語った。羽村稲門会幹事長の横田さん（74）が「イギリスの美しい田舎町コッツウォルズに魅せられて」と題し講演した。横田さんは公務員を退職後、妻の洋子さんと一緒に喫茶店「Cafe-yokotani」を開いた。しつらえを考えた時、妻があこがれだったコッツウォルズを提案。二人で1カ月旅行し、横田さんも魅

了された。帰国後、コッツウォルズの雰囲気を感じられる店をオープン。以来、10年間毎年、コッツウォルズを訪ねているという。コッツウォルズは羊毛工業が盛んな地域だったが、近代産業の波に乗り遅れたまま農業で静かに暮らし続けてきた。今は守り続けてきた自然環境と人の絆が、世界を魅了し、安息の時を求めて多くの人が訪れていると解説。風土、光景を生かしたまちづくりは青梅市にも通じるものと結んだ。

当日の出席者は両会長、横田さんのほか次の皆さん（敬称略）。青梅稲門会〓村井謙介、山崎茂、浜中茂、玉川克身、副島茂利、谷内幸恵、中原秀文、伊藤博元、加藤秀夫、青梅三田会〓渡辺學而、田辺忠宇、藤野忠男、館盛和、島崎実、田辺晃、柚木克也、羽村三田会〓中野明生、四宮靖三、田辺寿（岡村）

自然に囲まれた
アットホームなメカネ庵さん
めぐみのウイング
〒304-2674 724-1
TEL 0426-74-7241